

●総合研究大学院大学 物理科学研究科機能分子科学専攻
「研究力と適性を磨くコース別教育プログラム」の事例 <理工農系>

具体的に何を実施したのか

博士前期課程におけるラボ・ローテーションの実施、その単位化を実施した。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

海外におけるいわゆるラボローテーションの事例では、入学後一定期間は所属研究室を定めずにいくつかの研究室を廻り、様々な経験を積むものもあるが、本プログラムでは議論の結果、所属研究室は定めながら、2か所以上の他の研究室（うち1か所は他の専攻を推奨）での経験を積むこととした。5年一貫制1～2年次では講義科目の履修も必要なため、それに要する時間を確保しつつ他研究室での研修を可能とするよう、期間その他の基準を定めて運用した。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

この事業により、学生（或いは場合によって教員についても）の自らの研究内容の周辺領域に対する視野は着実に広まっており、研究内容の位置づけ等について広い観点から考えるようになった。1研究室の研修の終了ごとに学生に終了報告書を提出させているが、上記の点を自覚する記述がしばしば見られた。

●総合研究大学院大学 物理科学研究科機能分子科学専攻
「研究力と適性を磨くコース別教育プログラム」の事例 <理工農系>

具体的に何を実施したのか

本事業プログラムの運営について議論し、進捗状況を点検する運営委員会を月例定例として開催した。研究科内の各専攻から複数名が委員として出席し、TV会議システムで会合を行った。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

本研究科では基盤研究機関が地理的に分散しているため、委員会を対面で頻繁に持つことが困難である。そのため、TV会議システムを有効利用し、毎月定例の会議を持った。会議ではプログラムの運営が計画通りに進捗しているか、また改善を要する点はあるか、一つ一つの事業項目に対して常に点検しつつ運営を進めた。研究科の専攻長会議も同様な形態で開催しているが、それとは別日程でこの会議を設定し、教育プログラムの詳細に至る点まで詳細に議論できるよう配慮した。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

会議を相当頻度で開催することで、特に地理的にも離れた専攻を超えた教員間のコミュニケーションが、以前に比べてはるかに良くとられるようになった。研究科全体の教育に関して共通認識が圧倒的に進み、研究科全体の教育面の運営、教育科目の体系化（共通専門基礎科目、英語科目等）などが整理され、統一感が増す結果を生んだ。

●総合研究大学院大学 物理科学研究科機能分子科学専攻
「研究力と適性を磨くコース別教育プログラム」の事例 <理工農系>

具体的に何を実施したのか

コース別教育における、海外研究室におけるインターンシップの支援、国内外での国際会議等出席に対する支援を行った。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

コースによっては、海外研究室で研修を行うことを修了要件とした。その期間は基盤機関で講義等を受けることができなくなるため、海外での研修を演習として単位認定する制度設計を行った。海外での研修を支援した学生については、コースの修了要件として国際的な発表を他の学生に比して多く要求する等、支援の効果が表れる工夫を行った。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

海外研修を行った学生は、研修前に比べて、見違えるほど国際性を身につけて帰国する。共同研究とそれにかかる議論を通じて、先端的な学術を進めるためのコミュニケーション能力と視野の広さと人的なつながりを獲得し、大きく成長する。報告書の記述においても、今後の自らの方向性を定め、研究をより発展させていくために大きな力になったとの感想が多くみられる。この点は、海外研修のみならず、短期間の海外国際会議発表でも程度の差はあるものの、同様である。また、国際的な共同研究がより進むという効果もあった。